



「ゆ」から世界を新しく。

GOKURAKUYU
HOLDINGS

2021年3月期 決算説明

2021年5月20日

(東証JASDAQ コード：2340)

株式会社極楽湯ホールディングス

本資料は、株式会社極楽湯ホールディングスの事業および業界動向に加えて、株式会社極楽湯ホールディングスによる現在の予定、推定、見込みまたは予想に基づいた将来の展望についても言及しています。

これらの将来の展望に関する表明は、様々なリスクや不確実性がつきまっています。既に知られた、若しくは知られていないリスク、不確実性、その他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。株式会社極楽湯ホールディングスは、将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なることもありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、2021年5月20日現在において、利用可能な情報に基づいて、株式会社極楽湯ホールディングスによりなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して、将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではございません。

問い合わせ先: ir@gokurakuyu.ne.jp

1. 2021年3月期 決算概要

- 1、コロナ禍の休業等により売上減少、減損計上
- 2、日本はコロナによる自粛と緩和を繰り返し
「鬼滅の刃」「進撃の巨人」等のコラボで集客
公式オンラインショッピングサイトを開設
- 3、中国は夏季に全店営業再開した後、回復傾向
武漢店をフランチャイズ化
- 4、資金繰り改善に向けた取り組み
 - ・ファシリティ型新株予約権の実行
 - ・賃料や人件費、広告宣伝費等のコスト削減
 - ・借入金返済猶予、金融機関と継続的に協議
 - ・助成金や給付金等の受領、納税猶予制度の活用

2021年3月期 決算ハイライト

- ①売上高は、前期比27.8%減の10,547百万円（4,050百万円の減少）
- ②営業利益は、前期に比べ1,197百万円減少し1,546百万円の営業損失
- ③経常利益は、前期に比べ219百万円減少し926百万円の経常損失
- ④親会社株主に帰属する当期純利益は、前期に比べ182百万円増加し3,081百万円の親会社株主に帰属する当期純損失

(単位：百万円)

		売上高	営業利益	経常利益	親会社株主帰属 当期純利益
21年3月期 実績		10,547	▲1,546	▲926	▲3,081
20年3月期 実績		14,597	▲348	▲707	▲3,264
前期比	増減率	▲27.8%	—	—	—
	増減額	▲4,050	▲1,197	▲219	182

【日本・中国】セグメント売上高と利益又は損失

- ①日本は、売上高が前期比29.9%減の8,838百万円（3,764百万円の減少）
セグメント損失1,175百万円は、前期セグメント利益313百万円より
マイナス1,489百万円
- ②中国は、売上高が前年同期比14.2%減の1,736百万円（288百万円の減少）
セグメント損失217百万円は、前年同期セグメント損失485百万円より
プラス268百万円

(単位：百万円)

	売上高				セグメント利益				
	日本	中国	調整	計	日本	中国	調整	計	
21年3月期 実績	8,838	1,736	▲27	10,547	▲1,175	▲217	▲153	▲1,546	
20年3月期 実績	12,603	2,025	▲30	14,597	313	▲485	▲176	▲348	
前期比	増減額	▲3,764	▲288	2	▲2,823	▲1,489	268	23	▲1,197
	増減率	▲29.9%	▲14.2%	—	▲27.7%	—	—	—	—

【日本】セグメント 四半期毎の状況

①3Qは、コロナ第3波が到来、来店はしても飲食利用をしない傾向となり、飲食売上を中心に落ち込んだ
②コラボ効果が期待より低く終わった

①4Qは、2度目の緊急事態宣言により営業自粛や時短営業・飲食エリアの時短営業等が影響
②「進撃の巨人」コラボ効果もみられた

(単位：百万円)

		1Q 4-6月	2Q 7-9月	3Q 10-12月	4Q 1-3月	累計
21年3月期 実績	売上	1,306	2,689	2,408	2,435	8,838
	セグメント利益 又は損失	▲819	▲12	▲232	▲112	▲1,176
20年3月期 実績	売上	2,818	3,406	3,233	3,145	12,603
	セグメント利益 又は損失	▲17	212	78	41	314

①1Qは、営業自粛や営業時間短縮により売上が前年より大きく減少
②売上減にもかかわらず補償見込み人件費や固定費が重く損失が拡大

①2Qは、営業再開後に「鬼滅の刃」コラボ実施し、売上が1Qより回復
②売上回復と合わせ賃料減額(6-7月)等のコスト削減で損失抑える

【中国】セグメント 四半期毎の状況

①3Qは、海外渡航自粛から来店数が急増しコスト削減効果もあり黒字に
②武漢店を譲渡し、賃料などのコスト負担が譲渡先に移った

①4Qは、春節があり最大の繁忙期（前期は1月下旬より全店臨時休業）
②長春、1-2月に近隣でコロナ感染者が出たため16日間の臨時休業

(単位：百万円)

		1Q 4-6月	2Q 7-9月	3Q 10-12月	4Q 1-3月	累計
21年3月期 実績	売上	57	252	662	766	1,737
	セグメント利益 又は損失	▲187	▲115	52	32	▲217
20年3月期 実績	売上	496	418	752	360	2,026
	セグメント利益 又は損失	▲203	▲195	▲37	▲51	▲486

①1Qは、例年閑散期にあたり例年赤字
②1Qは、直営・長春のみ営業再開し、他の直営3店舗は休業中
③1Qは、他3店含め、資金の支出やコストを抑えることに徹底した結果、前年の赤字幅を抑えることが出来た

①2Qは、1Q同様に例年閑散期に当たる
②2Qは、直営では上海2店も営業再開し売上が1Qより大きく回復した
③2Qは、上海2店舗の営業再開に加え新規FC契約も取り組む



前期に比べ、当期は **元高円安** で推移



平均レート (円/元)

	1Q	2Q	3Q	4Q
2021年3月期	15.18	15.26	15.81	15.65
2020年3月期	16.15	15.74	15.65	15.65

営業外損益と特別損益について

10

営業外損益

(単位：百万円)

主なもの		金額	説明
1.	為替差益	280	前期末と当期末の為替レートの差異
2.	助成金収入	323	雇用調整助成金・持続化給付金など
3.	支払利息	114	銀行などからの借入利息

特別損益

(単位：百万円)

主なもの		金額	説明
1.	事業譲渡益	15	武漢店FC化 = 債務の圧縮
2.	保険解約返戻金	50	従業員生命保険（福利厚生）の解約
3.	減損損失	1,180	杭州 = 336百万円（建設仮勘定） 日本直営10店舗 = 843百万円
4.	貸倒引当金繰入額	217	中国FC先 = 140百万円（長期貸付金） 宮崎店FC化 = 54百万円（建設協力金他） 出店予定店舗 = 15百万円（保証金）

- ①総資産は、前期比13.9%減の18,514百万円（2,995百万円の減少）
- ②純資産は、前期比66.4%減の1,330百万円（2,635百万円の減少）
- ③自己資本比率は、前期末が16.5%に対し、当期末が5.5%
- ④ 1株あたり純資産は、前期比74.0%減の55円32銭（157円30銭の減少）

（単位：百万円）

		総資産	純資産	自己資本比率	1株あたり純資産
21年3月期実績		18,514	1,330	5.5%	55円32銭
20年3月期実績		21,510	3,966	16.5%	212円62銭
前期比	増減率	▲13.9%	▲66.4%	▲11.0%	▲74.0%
	増減額	▲2,995	▲2,635	—	▲157円30銭

キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	20年3月期 実績	21年3月期 実績	増減
営業活動CF	1,885	122	▲1,762
投資活動CF	▲1,884	▲275	+1,609
財務活動CF	2,260	▲103	▲2,363
現金及び現金同等物に係る 換算差額	▲64	54	+118
現金及び現金同等物の増減額 (▲は減少)	2,197	▲201	▲1,195
現金及び現金同等物の期首残高	2,792	4,989	+2,197
現金及び現金同等物の期末残高	4,989	4,788	▲201

投資を控え、資金流出
を出来る限り抑えた

- ①金融機関との協議にて
返済猶予いただいた
- ②ファシリティ型新株予
約権の行使による調達
- ③出店中止に伴い出店資
金の繰上返済

引き続き、経営基盤の強化・安定に努めてまいります。

<2021年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）より>

当社グループは、前連結会計年度において新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、中国連結子会社における臨時休業や日本での外出自粛要請等によって売上高が減少し、減損損失等の特別損失の計上をしたことにより3,264百万円の親会社株主に帰属する当期純損失を計上いたしました。これにより、シンジケートローンの借入契約に付されている財務制限条項に抵触いたしました。取引先金融機関と協議した結果、返済を猶予いただきました。また、その他の借入契約につきましても取引先金融機関と協議を行い、当面の返済について猶予いただきました。

当連結会計年度の開始以降におきましても、日本の店舗でも臨時休業を余儀なくされ、営業再開後も時短営業や臨時休業又は飲食エリアの時短営業等を繰り返し、厳しい業績で推移いたしました。そのような状況の中、当連結会計年度において減損損失等の特別損失の計上をしたことにより3,081百万円の親会社株主に帰属する当期純損失を計上いたしました。これにより再度、シンジケートローンの借入契約に付されている財務制限条項に抵触しますが、取引先金融機関と継続して協議をしておりますので、引き続き当面の期間は返済猶予していただけるものと確信しております。

しかしながら、今後の集客が以前のように戻るまでには相当の時間がかかる見込みであり、手元流動性の確保に支障が生じる可能性が引き続きあることから、継続企業的前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

この状況を可能な限り早く解消するため、当社グループでは、各種コラボ企画による収益向上策の実施、広告宣伝費等のコスト削減、緊急経済対策に基づく税金の納税猶予制度等の活用、取引金融機関への継続的支援の要請、既存店のフランチャイズ化による譲渡、ファシリティ型新株予約権の発行等の財務体質改善のための資本政策の取り組みをしております。また、今後も継続して様々な取り組みを検討し、速やかに実行してまいります。

(～中略～)

この結果、当社グループには、継続企業的前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

- ① まだ先行き不透明な状況が続くと予想
- ② 対処すべき課題に取り組むことで経営基盤の安定、業績の回復等に努める
- ③ 2022年3月期の連結業績見通しは、未定とする
- ④ 2022年3月期の配当(予想)は、**無配**

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主帰属 当期純利益
22年3月期 予想	未定	未定	未定	未定
21年3月期 実績	10,547	▲1,546	▲926	▲3,081

2. 国内の取り組み

【国内】①株主優待券と回数券の有効期限延長

16

<2020年5月27日 お知らせ>

新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、一部店舗において臨時休業及び営業時間の短縮といった対策を行ってまいりました。

このような状況を鑑み、株主様のご利用機会確保を目的として、現在有効である株主優待券の期限を、**1年間延長**

2020年11月30日期限 ⇒ 2021年11月30日期限へ

<直営店の販売済み回数券> **期限延長**

2020年3月31日期限 ⇒ 2021年7月31日期限へ

2021年3月31日期限 ⇒ 2022年3月31日期限へ

※状況により更なる期限延長の検討可能性あり

【国内】 ②新株予約権発行とファシリティ契約締結 17

< 2020年7月8日 お知らせ >

S M B C日興証券株式会社を割当予定先として第三者割当により新株予約権を発行すること及び金融商品取引法に基づく本新株予約権に関する届出の効力発生後にファシリティ契約を締結

- | | | |
|-----|--------------|---------------------|
| (1) | 割当日 | 2020年7月27日 |
| (2) | 発行新株予約権数 | 4万個 |
| (3) | 発行価額 | 1個当たり155円(総額62万円) |
| (4) | 当該発行による潜在株式数 | 潜在株式数：4百万株 |
| (5) | 調達資金の額 | 14億9,420万円(差引手取概算額) |
- (内訳) 本新株予約権の払込金額の総額620万円
本新株予約権の行使に際して出資される財産の価額1,496百万円
発行諸費用の概算額8百万円

これにより、2021年4月末までに約6.4億円の資金を調達

【国内】 ③ファンズ株式会社との業務提携

18

< 2020年8月17日 お知らせ >

各種コラボ施策と同様に極楽湯、RAKU SPA、RAKU CAFEなどの温浴施設及び娯楽施設を利用するきっかけとファン作りのために、Funds上での優待券付ファンドを提供するための提携となります。

当社にとってインターネットを活用した資金調達は新しいチャレンジです。これまで全国津々浦々にお風呂を作りファンを増やしていく戦略をとってまいりましたが、今回のチャレンジを通じ、ファンとなって応援してくださる方との新しい関係を築くことができると考えております。



- 第1回募集 RAKU CAFEファンド#1
「RAKU CAFE 門前仲町」の出店資金（募集額:50百万円）
- 第2回募集 極楽湯RAKU SPAファンド#1
「RAKU SPA Cafe 浜松」改装費用（募集額:50百万円）
- 第3回募集 極楽湯RAKU SPAファンド#2
娯楽施設事業における事業資金として（募集額:50百万円）

いずれも好評を博し満額調達



【国内】④「Go To 極楽湯キャンペーン」の実施

19

第1弾 <2020年8月25日 お知らせ>

現行の株主優待制度に加えて、2020年9月末時点で1単元株（100株）以上保有いただいている全ての株主に対し、今回に限り保有期間の条件に関係なく、極楽湯グループの施設で使える『ご優待券』（無料入浴券）を2枚、贈呈。



第2弾 <2021年2月12日 お知らせ>

現行の株主優待制度に加えて、2021年3月末時点で2単元株（200株）以上保有いただいている全ての株主に対し、今回に限り保有期間の条件に関係なく、極楽湯グループの施設で使える『ご優待券』（無料入浴券）を2枚、贈呈。



【国内】⑤店舗の他社商品とのコラボなど

さまざまな他社商品とのコラボ・期間限定イベントを実施（直営店舗+グループ店ほか）

①TVアニメ「鬼滅の刃」コラボ 2020年7月8日～9月30日



②「U 26割キャンペーン」2020年9月19日～22日

An advertisement for a 'U 26割キャンペーン' (U 26% Off Campaign) at Raku Spa. The ad features a red background with the text '26歳以下誰でも! U 26割 キャンペーン' and '9/19(土) ~ 9/22(火・祝)'. It lists the entrance fees: '極楽湯入館料 500円 税込' and 'RAKU SPA 1010 入館料 1,000円 税込'. A red box on the right says '詳しくはクリック'. The background shows images of the spa's outdoor and indoor pools.

【国内】⑤店舗の他社商品とのコラボなど

22

さまざまな他社商品とのコラボ・期間限定イベントを実施（直営店舗+グループ店ほか）

③「しあわせピンクバス プロジェクト」 2020年10月1日～10月7日



④「ぐでたま・けろけろけろっぴ」コラボ 2020年10月16日～11月15日



【国内】⑤店舗の他社商品とのコラボなど

さまざまな他社商品とのコラボ・期間限定イベントを実施（直営店舗+グループ店ほか）

⑤「養命酒」 コラボ 2020年12月4日～12月13日



⑥「おそ松さん」 コラボ 2020年12月14日～2021年1月13日



【国内】⑤店舗の他社商品とのコラボなど

さまざまな他社商品とのコラボ・期間限定イベントを実施（直営店舗+グループ店ほか）

⑦「ブラックスター」コラボ 2021年1月8日～2月9日



⑧「進撃の巨人」コラボ 2021年2月10日～4月18日



【国内】⑥エオネックスグループ

25

- 2020年4月 全株式を取得し子会社化し、資本関係を構築
6月 当社持分の一部を現経営陣へ譲渡したため 非連結子会社へ
2021年2月 持ち分比率を現経営陣へ譲渡（当社議決権比率：約34%へ）

目的：当社グループ店舗の保守メンテナンス対策



■株式会社エオネックス

- ・温泉事業
温泉掘削、メンテナンス、省エネサービス、地熱開発
- ・環境事業
土壌汚染、地盤調査、地下水調査、大気調査、建物環境調査



■株式会社利水社

- ・土地と空間の測量、空中写真撮影・図化

極楽湯グループ



■株式会社湯ネックス

- ・温浴施設「祥楽の湯」2店舗の運営

※2021年5月20日現在、株式会社利水社と株式会社湯ネックスの全株式は株式会社エオネックスが保有しております。



「**極楽湯公式オンラインショップ**」を立ち上げました。
各種コラボ商品がこちらからも購入できます。

◆URL: <https://eshop.gokurakuyu.ne.jp/>



RAKU Cafe 門前仲町



2020年5月、東京都江東区に新業態の店舗をプレオープンしました
「お風呂のない RAKU SPA」がコンセプトの新業態店舗

◆施設紹介動画 <https://youtu.be/SAfvwK0wX4o>

【国内】 ⑧宮崎店のフランチャイズ化

2007年4月にオープンし、13年が経過した「極楽湯 宮崎店」は同施設内1階でボウリング場を運営するエースランド株式会社に対して2021年4月1日付で店舗資産を譲渡し、フランチャイズ店に移行しました。



【国内】 ⑨奈良店の閉店

「極楽湯 奈良店」は 2021年1月11日の営業時間終了をもちまして
契約期間満了により営業を終了いたしました。
1998年2月に開店して以来、約23年間にわたり、
たくさんのお客様からご愛顧を賜りました。ありがとうございました。



3. 中国の取り組み

【中国】FC即墨温泉館オープン

30

<2021年1月27日 お知らせ>

中国のフランチャイズ店「極楽湯 即墨温泉館」（山東省青島市）にてオープンいたしました。中国有力企業であるハイアールグループが世界に通じる高級温泉療養施設を目指して開業いたしました。地下1階の温浴エリアには豊富なミネラルを含み美容効果が期待できる天然温泉があります。



【中国】FC金銀潭店リニューアルオープン

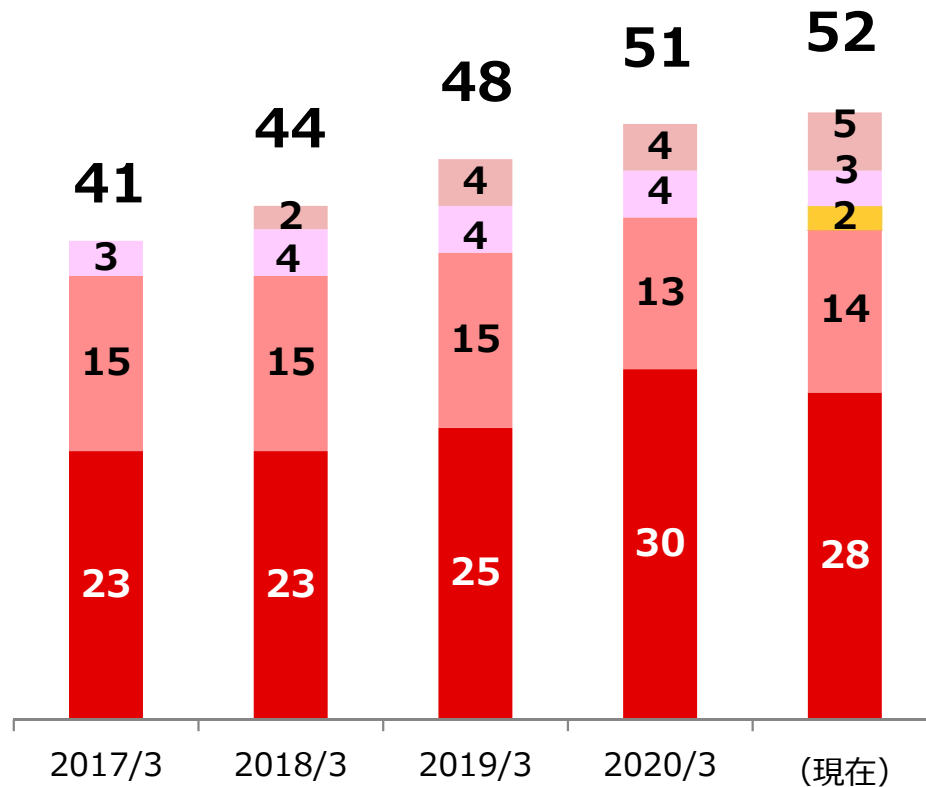
31

<2020年11月13日 お知らせ & 2021年5月6日 お知らせ>

「極楽湯 金銀潭温泉館」(湖北省武漢市)は2020年11月に直営からFCに移行することを決定しました。新オーナーのもと、改装などオープンに向けて準備を進め、2021年5月1日にリニューアルオープンいたしました。飲食エリアやマッサージエリアの改装、果物や飲み物がフリーになるなど、お客様により一層ご満足いただけるよう見直しされております。



- 国内直営
- 国内FC
- 国内グループ
- 海外（中国）直営
- 海外（中国）FC



直営31

国内 28 海外 3

FC19

国内 14 海外 5

グループ²

国内 2

計 52

(2021年5月20日現在)

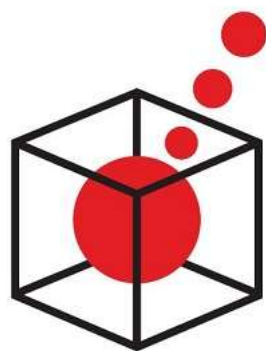
注：2020年4月1日にグループ化した「祥楽の湯」2店舗を含む

注：温浴施設以外の店舗を含まない

4、(参考)会社概要・国内の温浴業界

(株) 極楽湯ホールディングス 2017年1月1日 誕生

ロゴマーク



「ゆ」から世界を新しく。

GOKURAKUYU
HOLDINGS

— ロゴマークに込めた思い —

**極楽湯グループは「ゆ」から始まる
快適癒し空間を創って来ました。**

**今後も、新たな空間創りのため、
「ゆ」のように温かくも、
型にはまらず成長し続ける
私達でありたいと思っています。**

人への温かさ、優しさ。

即ち「癒し」を通じて社会貢献を果たします。

日本から世界へ。

人や自然との調和を大切に。

その先の成長へと向かい、発信し続けていきます。



国内NO.1 温浴チェーン (店舗数日本一)

「極楽湯」「RAKU SPA」ブランドで 国内44店舗(直営30・FC13・グループ2)の温浴施設運営

《近年の出店状況》

2019年7月 株式会社タカチホより温浴事業(5店舗)を譲受け、直営店としてオープン

2020年4月 エオネックスグループへ資本を入れ、メンテナンスの効率化を目指す

“祥楽の湯”2店舗がグループに加わる

中国で温浴事業 (直営とフランチャイズ展開)

人口世界No.1であり、高度経済成長国の中国に2011年に進出

2013年、上海に海外1号店をオープン。現在直営3店舗運営

《近年の出店状況》

2019年1月 「極楽湯 欧亜温泉館」(長春市) (直営店) がオープン

2019年10月 「極楽湯 宝山温泉館」(上海市) (FC店) がオープン

2020年11月 「極楽湯 金銀潭温泉館」(武漢市) (直営店) をFC化

➡2021年5月 「極楽湯 金銀潭店」(武漢市) (FC店) がリニューアルオープン

2021年1月 「極楽湯 即墨温泉館」(青島市) (FC店) がオープン

(2021年5月20日現在)



極楽湯
ごくらくゆ

「日常生活の延長線上に癒しを提供する」
をコンセプトに展開する日帰り温浴施設
直営のほか、フランチャイズ形式で出店



RAKU SPA

特に若い世代を中心にお風呂と合わせて広々とした
館内で多くの遊べるコンテンツを盛り込み、癒しと
遊び心が詰まった、楽しめる温浴施設
“RAKU SPA Cafe” や “RAKU SPA GARDEN”、
“RAKU SPA 1010(セントウ)”といった特色ある
シリーズで出店



国内の平均店舗の約6倍の広さをもつ館内に
日本の「和」を感じる空間をデザイン、
国内店舗と同等の衛生管理、癒しなど
「おもてなし」サービスの提供を目指す。
直営店のほか、フランチャイズ形式で出店。



温浴事業の再強化・拡大

(温浴施設を起点に娯楽二ーズを取り込む)

国内：直営出店＋既存店の補修・改装（進化）

「RAKU SPA」： 滞在型娯楽施設として進化・発展

「極楽湯」： 補修・改装による安心安全・顧客満足度の向上

中国：FC・直営出店＋大規模改装

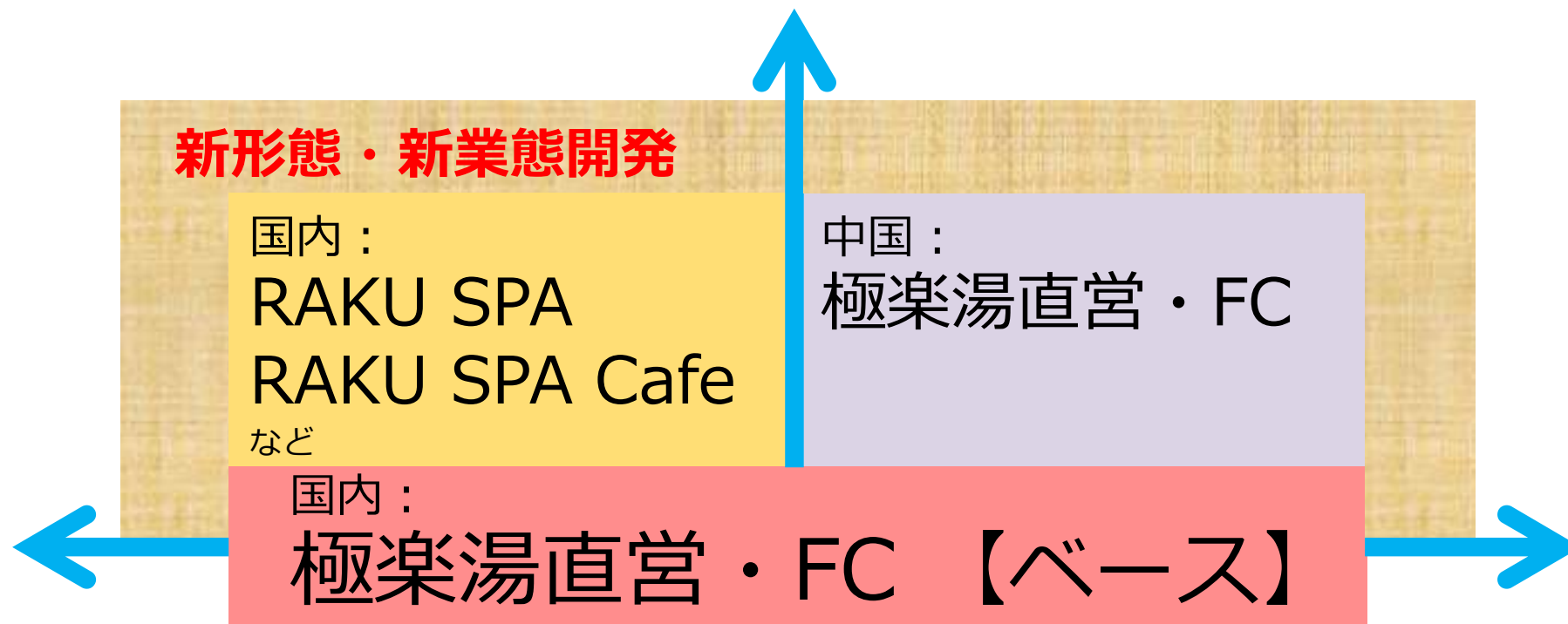
日本式温浴への二ーズは落ちていないが
さらなる収益拡大に向けた直営店の改装と施策の実施
現地事業会社とのFC展開・直営出店の推進

＋ 新業態開発による既存事業への波及効果

外食事業（第2弾：RAKU Cafe（新しいコンセプトのお店））

国内外で市場規模とニーズに合わせて 事業を拡大・推進させていく

温浴施設と付帯施設の展開を軸に売上高増加・収益性の追求



入館料金 + α のアイデアで収益機会の可能性大

公衆浴場法

一般公衆浴場業

銭湯

地域住民の日常生活の
健康衛生上必要なもの

料金は都道府県が規定
(物価統制令で入浴料金を統制)
大人：350円～450円

その他公衆浴場業

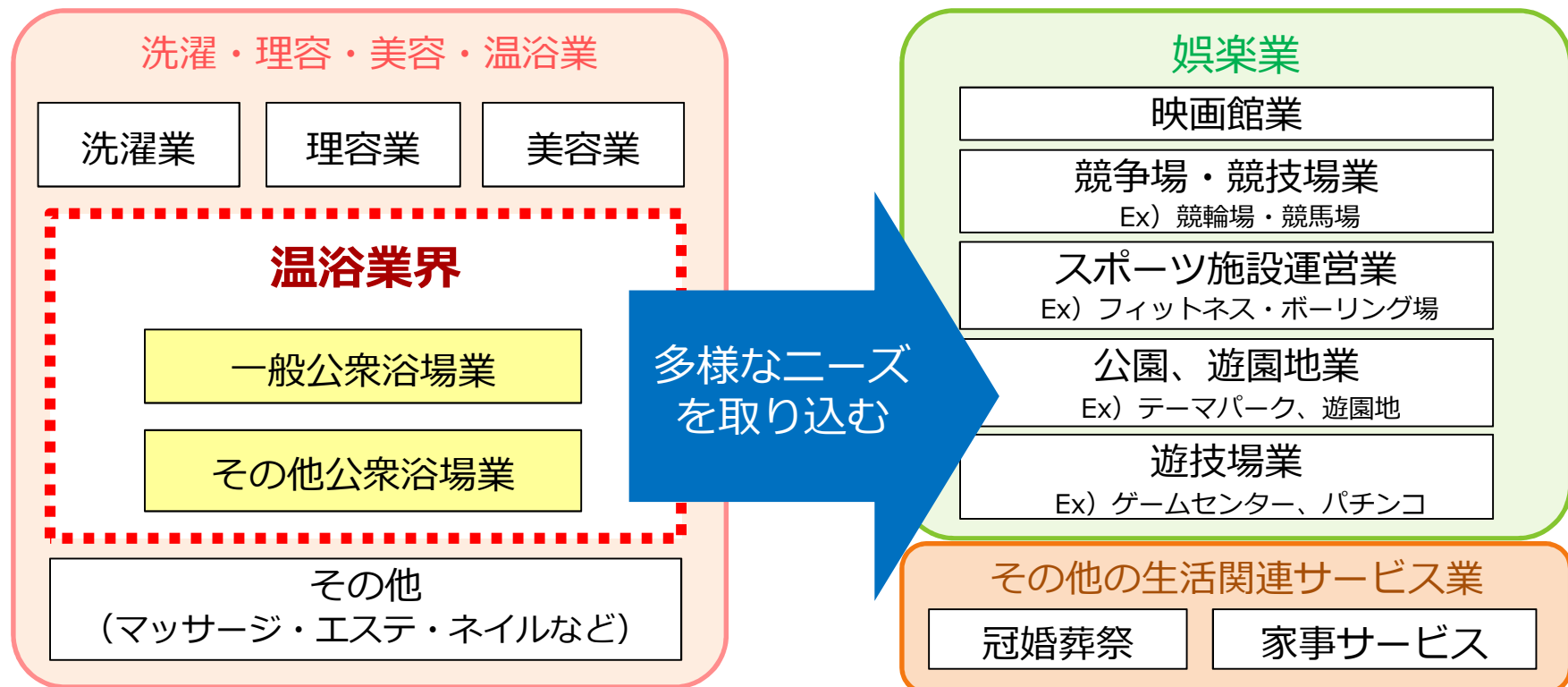
温浴業界

日帰り温浴施設、
スーパー銭湯、健康ランド
サウナ、スパ、クアハウス
など銭湯以外すべて

料金は施設が自由に設定
(物価統制令の適用外)
大人：400円～900円が中心

若い世代など多様なニーズを取り込む動き

生活関連サービス業、娯楽業（日本標準作業分類）



公衆浴場営業許可施設： **24,531** 施設(2019年度)

うち、一般公衆浴場：3,398施設
1970年占有率：87% ⇒ 2019年占有率：13.9%

(出所：厚生労働省「衛生行政報告例」)

大型レジャー浴場や食事、休憩、娯楽施設も併せ持つスーパー銭湯の増加
ターゲットを明確にして特色ある施設へと差別化、工夫を一層進める

背景

高齢化社会の到来
健康志向の高まり
余暇の過ごし方が多様化
業態のボーダレス化
緩やかな所得改善

当社の展開

テーブル席の増加
炭酸泉、岩盤浴の導入
明るい照明、床材へ
キッズコーナーの充実
大型温浴施設の出店
飲食充実、専門店の出店

集客・収入・利益の創出

温浴施設（入館料金）

+

利益の補完

附帯施設の利用

事業の特性

- ・装置産業
- ・固定費負担重く、償却費も多い
- ・固定費を下げることで利益増につながる
- ・損益分岐点からのかい離率が大きいと利益が累積的に増加する
- ・原油等の市況価額の変動の影響でコストの変動リスクがある

事業の特性

- ・アイデア・サービス
- ・変動費比率が高いので、増収→増益に直結しやすい
- ・初期投資費用が少なく採算性が見極めがしやすい
- ・継続的な採算性チェックが必要

収益向上への考え方

- ①固定費の引き下げ
- ②集客増による増収効果

収益向上への考え方

- ①生産性を見直し
- ②稼働率の向上

温浴業界のランキング

◆温浴施設 **6.2%** ↘

順位	社名	本社	部門売上高 (百万円)	前年度 比伸び 率(%)	決算 月
1	極楽湯ホールディングス	東京G	14,598	▲8.7	3
2	スパサンフジ (湯葉の里・喜楽里)	東京	10,395	▲0.9	3
3	オークランド観光開発(竜泉寺の湯、スオミの湯、喜盛の湯ほか)	愛知	7,435	▲2.5	4
4	常磐興産 (スパリゾートハワイアンズ)	福島	4,472	▲9.5	3
5	創裕 (ぼかぼか温泉ほか)	香川	3,472	▲5.2	3
6	東京ドーム (スパ ラクーア)	東京	3,380	2.7	1
7	カケン (喜多の湯)	愛知	3,004	▲0.5	3
8	サンリク (健美の湯)	埼玉	1,826	▲4.2	3
9	コシダカホールディングス (まねきの湯、らんぶの湯)	東京G	1,640	3.3	8
10	エコナックホールディングス (テルマー湯)	東京GF	1,448	1.7	3
11	マンテンホテル (満天の湯)	富山	1,339	33.8	9
12	リラフル (湯花楽ほか)	神奈川	1,312	▲9.0	3
13	亀井工業ホールディングス (湯快爽快)	神奈川	930	▲26.4	9
14	タカチホ (湯ったり苑)	長野	559	▲66.6	3
15	東武食品サービス (かすかべ湯元温泉)	東京	369	▲37.9	3
16	鳴尾ウォーターワールド (リゾ鳴尾浜)	兵庫	172	6.2	3

【温浴施設】スーパー銭湯や大型温泉などを運営している有力企業が対象

**極楽湯グループ
売上No.1**

※「日経MJ」調べ
※当社グループの海外売上含む

(「日経MJ」2020年11月11日より転載)

